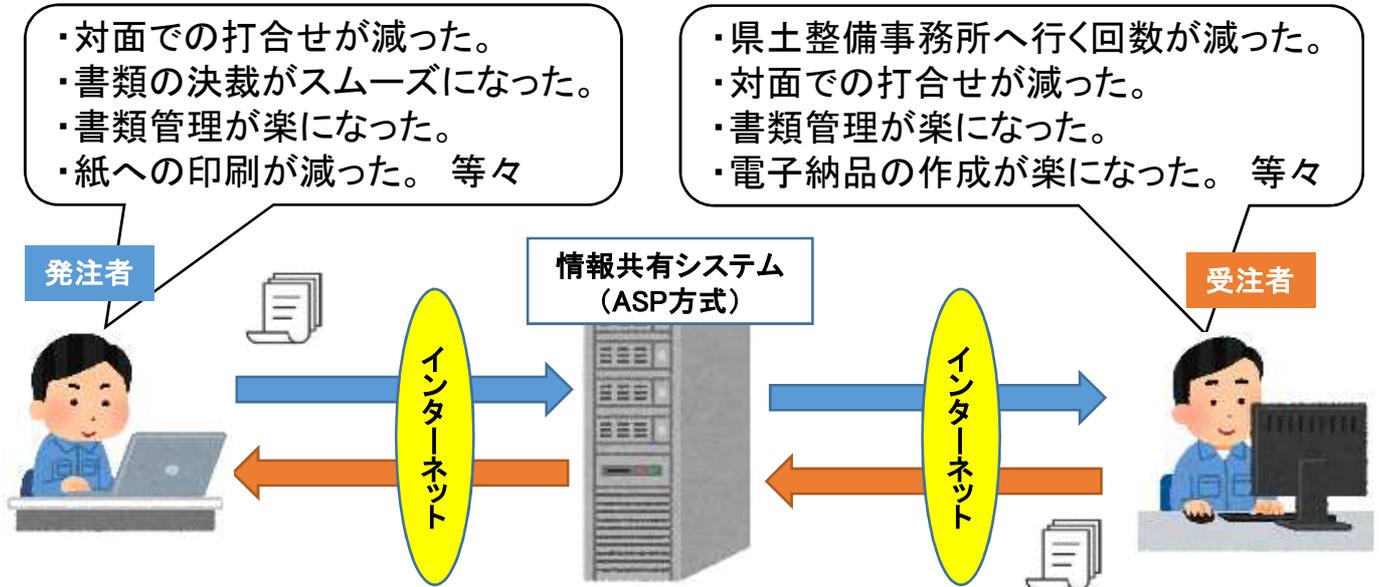


# 情報共有システム(ASP方式)を活用しましょう！

## ○情報共有システム(ASP方式)

受発注者間でのスケジュール調整、協議事項や工事書類をインターネットを通じ電子的に提出・共有・管理することにより **業務効率化を実現するシステム**のこと。



- ・対面での打合せが減った。
- ・書類の決裁がスムーズになった。
- ・書類管理が楽になった。
- ・紙への印刷が減った。等々

- ・県土整備事務所へ行く回数が減った。
- ・対面での打合せが減った。
- ・書類管理が楽になった。
- ・電子納品の作成が楽になった。等々

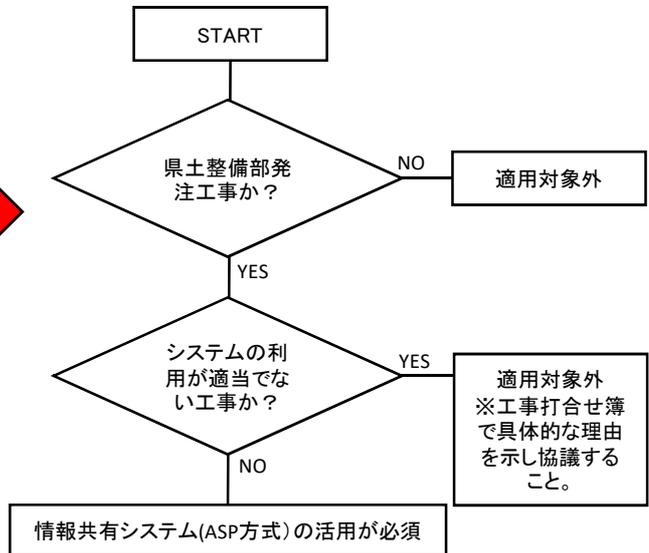
## ○対象工事(実施要領第3条、特記仕様書第1章第24条)

福岡県県土整備部が**発注する全ての工事を対象**とする。(利用料金は共通仮設費に含まれています。)

ただし、工事契約後に受発注者間で協議し、システムを利用することが適当でないと判断される場合は、適用対象外とすることができる。

右のフローチャートで確認。

### 対象工事判断フローチャート



#### 【留意事項】

実施要領第4条より

(契約)

システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。

(費用負担)

システムの利用料金は共通仮設費に含まれている。

※実施要領は県の企画課ホームページに掲載しています。

## ○利用者の声

### 【問】総合的な業務の効率は良くなりましたか？

	良くなった	変わらない	悪くなった	分からない
発注者	86%	7%	0%	7%
受注者	79%	17%	2%	2%

### 【問】今後も情報共有システムを利用したいですか？

	したい	したくない	分からない
受注者	90%	5%	5%

※システムを利用した受発注者の多くが、業務の効率が良くなったと回答しています。

「適用対象外」以外は必ず活用を！

令和6年4月  
技術調査班